

## MCR 学級 情報モラル講座

### 1 目的

- ・MCR 学級生が、情報モラル講座を通して、自らの子育てや家庭のあり方について学び考え、家庭教育力向上の良き機会とする。
- ・MCR 学級生の学びと仲間作りの場を広げる一助とする。

### 2 日時・会場・参加人数

7月12日(金)10:00~12:00

市民会館会議室 301

参加人数 31名

### 3 内容

(1)開会 主催者挨拶

(2)講演

演題 ネットリテラシーのススメ

～家族の未来を守るための情報モラル～

講師 任意団体 エンジェルズアイズ代表 遠藤 美季 氏

(3)質疑応答

### 4 概要

講師から「時代の流れとネットリテラシー(情報活用能力)」と「情報モラル」についてご講演がありました。ただネットを使いこなすという事だけではなく、教育がデジタルに進んでいく中、新しい技術と共に起こるリスクについて知り、親子・家庭で共有し、話し合っていくことの必要性について話されました。

具体的には

- ① 子どもは想定しないことをするが、遮断ではなく解決策を教える。  
(思春期の子どもはトラブルを起こしやすい:前頭前野が成長している時)  
・ネットをして損すること ・ネットからの情報は頭に入らない ・思考停止
- ② インスタントグラティフィケーション(すぐ得られる満足)とすぐ得られないストレス  
・とりあえずスマホや動画を見る現実と心理⇒現実逃避⇒スマホ依存
- ③ DMN(デフォルトモードネットワーク)が大切:ボーとしている時も脳は活動している  
・自分のことを考えている・情報把握している・情報を整理している・ひらめく・・・  
この時間にとりあえずスマホをしている可能性が高い。
- ④ スピード時代に問題を一緒に考えてほしい  
・「問題＝犯罪」につながることを教える。  
・ネットにはまる要素・背景を見つけていく必要がある。

例 ストレス発散、現実逃避、社会に不満、家庭に不満、ノープラン等

「危険を知って、安全に使う方法を考え、幸せにつながる使い方」を話されました。

資料「ネット依存は病気です(新潟日報掲載)」及び「レジュメ」「ネット社会とうまく付き合っていく?」に詳しい情報が参考になりました。

### 5 参加者の主な感想

- ・ DMN(デフォルトモードネットワーク)は良いことを知ることができました。
- ・ ネットリテラシーについて親が学ぶだけではダメ。子どもに伝えるだけでもダメ。なぜそれが大切なのかを子ども自身に考えさせ、共に話し合うことが何より大切なことと思いました。
- ・ 「遮断よりも解決策!」という言葉が印象的でした。時間に限らず、適切なネット情報の活用について親子で対話をしたいと思います。

